

産地生産基盤パワーアップ事業  
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書（収益性向上対策）

令和5年8月31日

都道府県名 鳥取県

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

- (1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減  
該当無し
- (2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状		目標				実績				スマート農業推進特		地域(県又は国を含む) の価格(販売単価)		補正係数	価格補正 後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証が できること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考						
						年度	面積	生産量又は 出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は 出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は 出荷量	価格(販売単価)								生産コスト	年度	導入・定着の取組 の実施内容	事業実施 前年度	目標年度	
						単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位								単位	単位	単位	単位	単位	
大山町 農業再生協議 会	2	大山町 (プロ コリ)	露地野菜 (プロコ リ)	ブロッコリー産地の 形成の推進 ①青果物保冷用の冷 蔵庫を導入すること により、収穫作業時 間帯を改善(深夜、 ライト装着での収穫 作業を軽減)する。 ②日中の収穫作業と することで、適期収 穫と収穫ロスを減少 させる。 ③作業体系の見直し により、規模拡大を 図る。 ④育苗に必要な鳥取 型低コストハウスの 導入により、規模拡 大を図る。	販売額の10%以 上の増加	H 28	232千円/10a	432.5 ha	2,778 t	360 円/kg	-	R4	265千円/10a	449.3 ha	3,305 t	360 円/kg	-	R4	285千円 /10a	400.2 ha	3,536 t	323 円/kg	-	—	431 円/kg	389 円/kg	1.108	316千円 /10a	251.3%	冷蔵庫導入により収穫 時間が緩和され、収穫 ロスが減少した。ま た、低コストハウスの 導入により安定した苗 づくりができたことか ら出荷量は年々増加 し、当初目標としてい た単位面積当たりの販 売額が、265千円/10a を上回る285千円/10a (補正額316千円/10a)で、 成果目標を達成した。	冷蔵庫の導入による収穫作業 環境と出荷ロスの改善及び育 苗用低コストハウスの導入に よる出荷率及び品質向上に取 り組んだことにより、出荷量 が増加し、10aあたりの販売額 は目標を上回った。 販売単価が目標に達していな いため、G1登録された「大山 ブロッコリー」のPR等、単価 向上に向けた取組を引き続き 支援していく。	
倉吉市 農業再生協議 会、北栄町農 業再生協議 会、琴浦町農 業再生協議 会、湯梨浜町 農業再生協 議会、三朝町 農業再生協 議会	5	鳥取中 央農業協 同組合内 (倉吉 市、北 栄町、 琴浦 町、湯 梨浜 町、三 朝町)	野菜 (スイカ )	スイカ産地の形成 の推進 ・鳥取型低コスト ハウスの導入による栽培 環境の改善により、計画的に産 地・ブランド化の 拡大に取り組む。 ・労力分散や作業 効率の改善により 収益性の向上を図 る。 上記を推進するこ とにより、販売額 10%以上の増加を 実現する。	販売額の10% 以上の増加	H 29	1,208 千円/10a	246.6 ha	14,034 t	212.3 千円/ t	-	R4	1,359 千円/10a	222.1 ha	12,935 t	233.4 千円/ t	-	R4	1,563 千円/10a	234.1 ha	14,995 t	243.9 千円/ t	-	—	224 千円/ t	263 千円/ t	0.852	1,332千 円/10a	81.9%	・当初計画よりも高単価時の 単価出荷量を増加できたこと や単収向上により、計画上の 販売額となったが、価格補 正を行った結果、目標未達成 となった。 ・露地栽培から施設栽培への 転換が進んでいるが、一方で 新たに露地栽培面積も増加し たことにより出荷量の分散が 図れず、年間を通じての販売 単価は抑制傾向となった。 ・今後は施設栽培面積を更に 拡大し、より一層の単収向上 により出荷量を増加させるこ とも、出荷時期の分散・高 単価時の出荷量増加により 単価を向上させ、目標達成を 図る。	鳥取型低コストハウス及び遮 光資材の導入による栽培環境 の改善が、出荷時期の前倒し に伴う高単価時の出荷と品質 向上に繋がっており、販売単価が目標 を上回ったものの、価格補 正により出荷量の分散が 図れず、今後は施設栽培面積の拡大と 単収向上を地域協議会等と連 携して進めていき、目標達成 に向けた販売額増加を目指す。	
八頭町 農業再生協 議会	4	鳥取県 八頭町	露地野菜 (白ね ぎ)	白ねぎ産地の形成 の推進 ①雪・強風対策資 材の導入 ②防除機、収穫 機、根葉切り機等 のリース導入	販売額の10% 以上の増加	H30	98,979千円	17.4 ha	238 t	415 円/kg	-	R4	109,283千 円	19.9 ha	269 t	406 円/kg	-	R4	87,034千円	17.3 ha	240 t	362 円/kg	-	—	427 円	394 円	1.084	94,283 千円	-45.6%	令和4年度は、栽培面積が現状値よ りも減少したことにより出荷量が伸び たため、目標未達成となった。また、 生初期の対天、乾燥及び夏の 高温期による生育の遅延、雪の 発生により白ネギの品質が低下した こと及び高単価時期に思うように出 荷できなかったことにより単価とな ったことも、目標未達成の要因の 一つである。 ・栽培面積の減少及び出荷量の伸び 悩みの主な理由は、大規模農家の家 庭計画の移行と、高単価の減少と 単価の減少である。生産者減少及び栽培面積 減少から、カパーの品質が低下した こと及び高単価時期に思うように出 荷できなかったことにより単価とな ったことも、目標未達成の要因の 一つである。 ・今後は、引き続き連綿や高単価 農産物と対象とした研修会を開催す るなど、栽培者の研修を行うほか、 取組実施者の面積拡大及び高単 価時の出荷量増を促すため、高 単価栽培者や高単価のJA農産物 による栽培指導を積極的に行い、大 規模農家を中心に経営意識の向上を 促進し、これをもって出荷量及び販 売額の増加を図る。	栽培面積が現状値よりも減少 し、目標の出荷量には到達で きなかったため、成果目標は 未達となった。 引き続き、新規就農者確保に 向けた取組や、収量向上の技 術対策等に重点を置いた改善 指導を関係機関で連携して行 う。 併せて、近年多発している気 象災害に対する防災、減災の 取組についても強化を促す。	
北栄町 農業再生協 議会	5	北栄町	野菜 (なが いも)	鳥取県産長芋の品 質向上、安定供給 体制の整備	販売額の10% 以上の増加	R1	1,099千円 /10a	33.88 ha	999,670 kg	373/ kg	-	R4	1,244千円 /10a	34.69 ha	1,060,529 kg	407/ kg	-	R4	910千円 /10a	34.4 ha	775,430 kg	404円	-	—	389 円/kg	419 円/kg	0.927	844千円 /10a	-175.9%	令和4年度(令和3年 産)については成果目 標未達成となった。そ の理由として、7、8月 の豪雨被害により腐れ や枯死が発生し収量が 下がったこと、生産戸 数が激減したことによ り面積が減少し、いず れも計画を下回った。 今後は排水対策や適期 防除により腐敗防止を 徹底しつつ、新しい選 果施設での機能向上に よる製品ロス率の改善 による反収向上を目指 す。また、新規就農者 の獲得及び収穫機導入 による作業効率向上に よる既存生産者ことの 面積増を図り、産地全 体の目標達成を目指す。	令和4年度(令和3年 産)については成果目 標未達成となった。そ の理由として、7、8月 の豪雨被害により腐れ や枯死が発生し収量が 下がったこと、生産戸 数が激減したことによ り面積が減少し、いず れも計画を下回った。 今後は排水対策や適期 防除により腐敗防止を 徹底しつつ、新しい選 果施設での機能向上に よる製品ロス率の改善 による反収向上を目指 す。また、新規就農者 の獲得及び収穫機導入 による作業効率向上に よる既存生産者ことの 面積増を図り、産地全 体の目標達成を目指す。	